

第10回ふれあいフェスティバル

平成12年5月28日



我が町新田

平成12年7月15日
第28号
発行 新田町会

第十回フェスティバル雑感!!



新田町会副会長
白子 誠雄

「天気予報は「明日も雨」と発表されているのに年に一度の一大イベント...もしかしての事を考慮して降りしきる雨の中、関係者全員濡れずみで準備を進めている不安と絶望的な気持ち!!...今年で第十回の節目を迎えたフェスティバルの中で、本番に雨の心配がな...準備が進められたのは、第一回と九回の二回だけ、其の他は大なり小なり雨の心配をした記憶が残っております。然し、関係者全員一丸となった準備に天も気合負けするのか、本番当日雨天中止は一度も無かった事は、奇蹟としか考えられません。今大会についても当日明方迄は大雨が降り続き、今回は完全に中止をせざるを得ないかな? ああ...: 地域の方々の資金協力により折角準備が整ったのに、又模擬店出店の方々が張切って準備をした品々の処理方法等々を考えながら、朝六時半頃に本番会場を見廻りに足を運んだ途端、雨が小止みとなり、雲が薄くなり時間の経過と共に、好天に恵まれたことはまさに天の助けバンザイ、バンザイ。結果は皆様ご承知の通り大盛況。天運の良かった事を感謝いたします。

地域行事と子供達



第七葛西小学校
校長 西嶋 久美子

「初夏のさわやかな風の中、四年生以上の音楽クラブと有志三十二名が、パトカーに守られ、友だちや保護者、地域の皆様のご声援を受けて、学校を

出発しました。会場まで「校歌」等を演奏し、会場では「マイウエイ」を聞いていただきました。四月始めから練習し、五月から放課後や早朝練習をして当日の演奏となりました。

地域のお祭りで、地域の皆様の前で演奏したり、式典に参加したり、出店で買物したり、遊びに参加したり「ふれあい祭り」での七小の子どもたちは、皆生き生きと輝いていました。地域の一員であることを誇らしく実感できた一日であったことでしょう。少子化が進み、今の子どもたちは、地域の自然や人々との関わりが、少なくなっていることが憂慮されています。

「新田ふれあいフェスティバル」でお友だちと楽しくすごしたことを、おとなになって、なつかしく思い出し、地域の方々のあたたかいまなざしをしみじみと感じることと思います。地域の皆様、保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。

「魁皇来たる」

葛西自治会連合会長西野博様のご尽力により、魁皇関を迎える事が出来ました。



「ご協力ありがとうございました」
収入 パザール売上金 二〇〇、〇〇〇円
寄附 江戸川区福祉 一〇〇、〇〇〇円
なぎさ音楽苑 一〇〇、〇〇〇円

新田町会特別賛助会員

- 協和物産(株)
- フェリエコーポレーション(株)
- イーワイヨシノ・グランドセフン(株)
- 西葛西メトロセンター会
- 葛西メトロセンター会
- 白子不動産(株)
- 共栄商事(株)
- 伊勢崎組(株)
- 山秀商事(株)
- 宇田川物産グループ(株)
- 周デザイン(株)
- 保土田(フードセンター)ほた(株)
- フジボウ流通センター(株)
- アクティオ(株)
- エイエス(株)
- 控井工務店(株)
- ビーエヌファーマシー(株)
- 葛西産業(株)キングパレス葛西店
- 白子(株)
- 佐藤工業(株)
- ウエスタンレーン・葛西店(株)
- ウエスタンレーン・西葛西店(株)
- ウエスタンレーン・パートII(株)
- オリバー(株)
- 全日本空輸(株)葛西寮
- N・T・T・データ通信(株)
- コムツ(株)
- 江戸商(株)
- ロイヤルグリーン(株)
- ヒューマンエンタープライズ(株)
- 富士工 葛西営業所(株)
- 日本ハウズینگ(株)葛西・西葛西
- 東京東信用金庫葛西支店・葛西駅前支店
- 江戸川信用金庫葛西支店
- さくら銀行葛西支店
- 都民銀行葛西支店
- 共構信用金庫葛西支店
- 三和銀行葛西支店
- 東京三菱銀行西葛西支店
- 住友銀行西葛西支店

西葛西駅前交番新設

葛西警察署長 加川 孝雄



平素は、警察業務各般に巨り多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこの春、かねてから建築中でありました西葛西駅前交番が、お蔭様をもちまして西葛西を中心とした地域の治安維持の拠点として、地下鉄東西線西葛西駅南口広場に完成し、4月28日に運用を開始。5月1日に開所式を挙行いたしました(写真)。

新しい西葛西駅前交番は、葛西警察署管内最大の繁華街の一角にあって、犯罪のない明るい街づくりの、まさに中核的役割を担うものと期待されるところであり、鉄骨一階建、延べ床面積六〇、四九㎡で旧交番よりも広く、近代的かつ機能的な建物です。勤務員もこのような明るく立派な交番で勤務できる喜びを噛み締めながら、地域住民の方々のための警察活動を目指し、さらに努力精進していく覚悟です。

新しい交番の竣工・開所にあたり、皆様方のお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

意識高まる・環境問題

中葛西在住 野崎 基子

葛西高福祉力会婦人部委員を受け、年かたちました。この間ゴミ問題講習会や清掃工場見学会など、種々の会合に参加してまいりました。そして、
*ゴミの正しい分け方・出し方
*再生品利用の拡大への取り組み
*資源回収事業の推進等を勉強させて頂きました。

東京都から出るゴミは、1年間になんと東京ドームの15杯分も有るそうです。我が家では少しでもゴミを減らすと、生ゴミ処理機を購入し、生ゴミを堆肥にして活用しています。

先日、葛西清掃事務所の森谷所長にお願いし、新田コミュニティ会館で講演していただきました。小坂部婦人部会長初め70数名の人が集ってくれました。捨てればゴミ、分別すれば資源に！私達の心がけ一つでゴミも減ります。資源循環型社会実現で、21世紀の日本を、住み良い街にしてゆきたいものです。

西葛西在住 安藤 優機子

あじさいの花が一雨毎に色を増す今日この頃、我が家族がこの街に住んではや17年になります。小学校、中学校地域では子供会、町会とお世話になって参りました。特に町会では色々な企画・催し物があり楽しく参加させて頂いています。陰でご苦労なさっている役員の皆様方に答えるべく又、良き町会員として何が出来るか考えました。今、取り沙汰されるゴミ問題から、せめて年2回行われる町会の美化運動には参加して行こうと思っています。

勿論我が家の囲りも、ご近所の方々とも協力して身近な所からきれいにする努力はしています。去る6月11日の美化運動デーは雨で中止になりました

が町会のスローガン「明るい清潔な町」を目指してより頑張ってまいります。

表彰おめでとうございます

5月5日 江戸川区総合文化センターにて環境フェアが開かれました。新田町会からは五名の方々が表彰されました。



右より
小坂部加代子 鳴島 信夫
若泉 正雄
松村 貞人
須賀 誠一
敬称略

新田町会盆おどり大会

8月5日(土)
6日(日)
場所 新田公園
時間 午後七時より

行事予定

- 7月26日 江戸川区総合防災訓練
- 8月16日 葛西消防署開所
- 9月17日 葛西中央区民大運動会
- 10月15日 葛西まつり
- 10月1日 国勢調査を実施いたしますので、ご協力下さい。

6月25日(日)

鯉の放流行わる(於四季の道)



代々受け継がれた 農家を守って！



新田地域でただ一軒野菜を作り、市場に出していらっしやる佐久間梅吉さんにインタビューいたしました。
Q 皆さんがやめられているのに野菜作りを続けていらっしやるんですね。
A ずい分考えましたが、先祖からの畑作りを続ける事もいいかなと思ってQ何を作られていますか。
A 今は小松菜を作っています。昔はツマミ菜を作っていました。この辺はどこの家もツマミ菜で、あたり一面緑のじゅうたんの様でしたよ。
Q なぜ小松菜に変えたのですか
A 時代ですよ。若い人達の食生活ががらりと変わってしまっ、手間のかかるツマミ菜は敬遠され、需要が少なくなりましたので小松菜にしました。でも、小松菜は育てるのに一苦労あります。芽が出始めると、蛾がよって来て葉を食べるので、ガーゼを被せ出荷する5日位前に取りはずして収穫するんです。

Q ずいぶん神経を使うんですね。
A ちよっとでも虫が食っていたら、市場では、引き取らないんですよ。処分する事も多いですね。
Q もったいないですね。
A 小松菜はお正月用の「おぞう煮」に使われるので、暮れは忙がしいですよ。良い肥料を使うと柔らかい小松菜が出来ますよ。葉ものは難しいですね。日々勉強です。

そうですね。いつまでも御家族で、良い小松菜を作ってください。
(C)存知かと思いますが、小松菜と言う名前は、徳川の殿様がつけられたそうです。カルシウム、鉄分、カロチン、ビタミンC等：豊富に含まれていますので大いに食べて下さい。
インタビュー 若上、館脇、仙頭

第5回

イブニングファンタジー開催

日時 7月30日(日) PM7:30~8:30
場所 新田コミュニティ会館広場
演奏 江戸川吹奏楽団
主催 サークルステージの会
夏の夜のひとときを「吹奏楽」の調べと共に過してみませんか。皆様のおいでをお待ち致しております

役員新旧交代

退任者
渡辺三衛 西川恵子 中村みよ子
佐藤君江 渡辺美矢子 福原悦子
松田多加江 柿沢幸代 伊東リエ
福田さとみ 廻 芳子 小山広子
伊藤寿美恵 吉田規江
長い間ご苦労さまでした。

新任者

高岩和男 服部弥生 吉田君代
青木万亀子 菊地みつえ 高橋初子
吉田なを子 尾関央子 小堀宏子
花ヶ崎たつ子 佐久間方枝(広報)
館脇かをる(広報)

編集後記

日本列島選挙一色にぬりつぶされた六月、あわたたしさの中で広報紙作りも進まず、遅ればせながらやっと発行の運びとなりました。